

かしょう いずみし けいかく そあん
(仮称)和泉市こども計画(素案)

ほん
やさしい版



こどもの^{みな}皆さんにも、わかりやすいように^{つく}作りました

いずみし けいかく 和泉市子ども計画ってなに？

いずみし しさく すす だいじ ひつよう
和泉市が子ども施策※を進めるときに、大事にすることや必要
なことを書いています。

いずみし おこな と く いずみし
これから和泉市が行うこどものための取り組みは、「和泉市こ
ども計画」に沿って進めていきます。

※こどもに関する取り組みのこと。おとなになるまでの心や身体の成長を
サポートすることや、子育てをする人々へのサポートをすることなどがあ
ります。

けいかく なぜ計画をつくるの？

わかもの しあわ せいかつ おく しゃかい
すべてのこども・若者が幸せな生活を送ることができる社会
を目指して、「こども基本法」という法律ができました。

しさく すす いずみし
そして、子ども施策をしっかり進めていくため、和泉市では
「和泉市子ども計画」をつくることになりました。

いずみし けいかく 和泉市子ども計画のめざすものはなに？

きほんりねん
基本理念

かのうせい はぐく かのうせい
すべてのこどもの可能性を育み、その可能性を

じゅうぶん はつき いずみし
十分に発揮できるこどもまんなかの和泉市

だれのためにつくるの？

いずみし す わかもの まわ つく
和泉市に住むすべてのこども・若者や周りのおとなのために作ります。

けいかく いつからいつまでの計画なの？

れいわ ねんど れいわ ねんど ねんかん けいかく
令和7年度から令和11年度までの5年間の計画です。

アンケート調査や子ども・若者によるワークショップでわかってきたこと

子どもや保護者（ほごしゃ たいしやう）を対象（たいしょう）にアンケートをとったり、子どもや若者（わかもの）、支援（しえん）に深くかかわっている関係者（かんけいしゃ）、地域（ちいき）に暮らす人（ひと）などの意見（いけん）を直接（ちよくせつき）聴くワークショップ（おこな）を行い、計画（けいかく）を作るにあたって現在の（げんざい）状況（じやうきやう）や様子（ようす）を聞いて情報（じやうほう）を集め、課題（かだい）の整理（せいり）を行いました（おこな）。

仕事（しごと）も子育て（こそだ）でも充実（じゅうじつ）したい。

困（こま）ったときに助（たす）けてくれる
しくみを充実（じゅうじつ）して。

もっと自分の意見（じぶん いけん）を聞いて
ほしい！

いろんな遊び（あそ）びができるところ
があったらいいな。

身近（みじか）な相談（そうだん）できる場所（ばしょ）が
増えてほしい。

学校（がっこう）や家（いえ）以外にも自分の
居場所（いばしょ）があったらいいな。



けいかく だいじ 計画が大事にすること (6つの基本方針)

きほんほうしん



けんり
こどもの権利

こどもが自分の意見を言える
機会を作り、さまざまなことを
経験することで、ありのままの
自分を大切に、生活や生き方を
自分で決める力を育てます。



ちいき
地域の
みんなで

地域に住んでいる人やさまざま
な団体と協力しながら、こども
がさまざまな遊びや経験をする
機会を作ります。



こんなん かか
困難を抱える

しえん
こどもを支援

こども虐待、貧困など、困難を
抱えるこども(家庭)を支援し
ます。



しゅうい ささ
周囲に支えられた
じぶんこそだ
自分らしい子育て

周囲から子育てを支えられている
と実感でき、自分らしい子育てが
できるよう必要な支援を進め
ます。



こんなん かか
困難を抱える
わかもの しえん
若者への支援

ひきこもり、ヤングケアラーな
ど、困難を抱える若者が、ひとり
で抱え込まず、早期に解決でき
るよう、支援します。



ライフステージに
しえん
そった支援

誕生前から幼稚園、小学校から
中学校・高校などのライフス
テージに合った、きめ細やかな
支援を進めます。



どんな取り組みをするの？

こどもの権利とこどもの意見を守るための取り組み

- こどもが自分の意見を言える機会を増やし、和泉市の取り組みに活かします。
- こどもに関わる学校や保育園などの先生、相談員などがこどもの意見を尊重するように伝えていきます。
- 家族にこどもの考えや思いを受け止めることが大切であることを伝えていきます。



地域みんなでこどもを大事に育てるための取り組み

- さまざまな人が集まる場所や、地域に住んでいる人が生活している場所の中の「こどもの居場所」など、地域に住んでいる人による居場所づくりを支援します。
- 保育や教育におけるさまざまな体験・交流の機会や遊び場、活動の場を作ります。
- 地域団体、民間団体、民間企業などと協力した遊びや体験の場を作ります。



困難を抱えるこどもとその家庭を支えるための取り組み

- ヤングケアラーや不登校のこどもについて、一人ひとり合った支援を行います。
- 障がい児が身体と心の両方とも健康に成長していくために、一人ひとりの状態に合った切れ目のない支援を行います。
- こどもに SOS の出し方を伝え、こどもの生きづらさに気づき、SOS を受け止めることのできる人を育てます。



みんなに支えられた自分らしい子育てのための取り組み

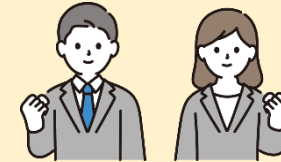


- 育児負担を軽減するための支援策を充実します。
- 男女が共に育児に参加する環境づくりに取り組みます。
- 子育てに関する相談先や親子が交流する場も含めた情報を広く知らせます。また、必要な情報に素早く簡単にアクセスでき、さまざまな手続きをストレスなく行える環境を整えます。



困難を抱える若者を支えるための取り組み

- ひきこもりなどの困りごとを抱える若者が相談できる場所に繋がり、本人の段階に合った支援ができるよう、仕組みづくりを進めます。
- 困っている若者の居場所づくりとそれを支える人を育てる取り組みを行います。
- ひきこもりなどへの理解を広めるため、こども・若者自身やおとなに広く知らせます。



ライフステージにそった取り組み

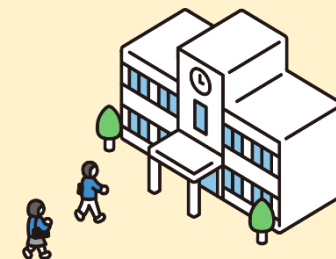
1. 誕生前から5才くらいまで

- 妊娠中からそれぞれの家庭に寄り添った切れ目のない相談支援を行います。
- こどもの成長、発達に役立つ保育サービスを提供します。



2. 学童期から思春期(6才から18才まで)

- 安全・安心に、みんなと関わりながら育つ、こどもの居場所としての学校になるよう取り組みます。
- 自分らしく生きていこうとすることこどもの発達・成長を支えます。



こども施策を進めていく上で大事なことってなに？

こども・若者わかもののみなさんがこども計画けいかくの当事者とうじしゃです。

こども・若者わかものとおとなが分け隔へだてなく、一緒いっしょになって社会しゃかいをつくること、また、こども・若者わかものも社会しゃかいの一員いちいんとして声こえをあげることができ、その声こえが社会しゃかいに活かいされることがとても大事なことです。

今後こんご、さまざまな分野ぶんやにおいてこども施策しさくを広げひろていくときは、こども・若者わかものの意見いけんを聴きく機会きかいを多く作り、意見いけんを反映はんえいさせながら取り組みとくを進めていきます。

こどもの意見いけんを大切たいせつにすることについて、より多くの人おほに広ひろく知しらせ、こどもを含めすべての市民しみんが自分らしく生活じぶんしやすせいかつい和泉市いずみしを目指めざします。



ぜひみなさんの声こえを聴きかせてください！

